

# 高橋剛商会ニュース

(株)高橋剛商会

〒170-0002

東京都豊島区巢鴨

2-16-4-203

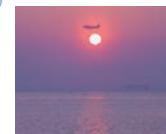
TEL 03・3576・5811

FAX 03・3576・5815

フリーダイヤル

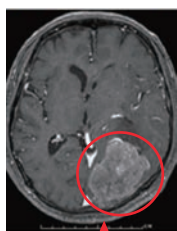
0120・76・5812

お客様・販売者・メーカーの絆となる情報交換誌です。



## 脳腫瘍ステージIVからの生還・・・生きる力ってなんだろう？

『バランスα』販売者と、そのご長女が向き合った現実



長女Aさんの脳腫瘍  
H25年4月の発覚時

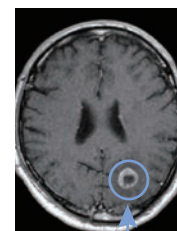
先月号では、『バランスα』新製品の試作段階で弊社スタッフの身内に脳腫瘍が発覚し、完成途上の試作品を飲んで劇的改善がみられたことをご報告させていただきました。

その身内とは、じつは弊社代表である平城匡史氏のご長女、Aさんです。

彼女のご病気をご両親に隠してきました。父、平城氏が彼女の状態を知ったときには脳腫瘍がステージ4まで進行していたのです。

今回は、平城氏と長女Aさん、そしてAさんのご病気に関わった人たちからお伺いしたお話を虚飾なくまとめさせていただきました。

\*プライバシー保護のため平城氏と、「バランスα」開発者・高橋剛氏以外の方は匿名にさせていただきます。



H26年5月の状態  
劇的縮小が明らか

### 発端

#### 平城氏のお話

私が、長女の脳腫瘍を知ったのは、昨年(平成25年)11月8日深夜のことです。

長女はボーイフレンドU君を私の弟夫婦に紹介がてら会食していました。その席で急に意識を失い、とつぜん私の家に運び込まれてきたのです。

お酒の飲みすぎくらいに思った私は、U君から「じつはAさんは脳腫瘍らしいのです」、と告げられてもすぐには信じるできませんでした。

翌日、起きだした長女を問い詰めました。

- ◎脳腫瘍が発見されてから1年以上になること
- ◎すでに手の施しようがなく終末医療(ホスピス)への転院も勧められたこと
- ◎担当の医師に「絶対に両親には教えないで」と長女が口止めさせたこと
- ◎やり残したら悔いが残りそうなことを、いま片っ端からやっているということ
- ◎だから父(平城)もいまの私(Aさん)の思いを理解して見守っていてほしい

娘に関して私が想像だにできなかったことを、このように次々に打ち明けられたのでした…。

#### 長女Aさんのお話

大学病院で初めて脳腫瘍を告げられたときは、頭が真っ白になって何をどうしていいかわかりませんでした。ただ、「私は間もなく死ぬんだなあ」とは、ぼんやりと考えました。担当の先生によると

- ◎海外の外科医を招聘して手術をすることができる(注/国内にこの手術ができる医者がいない)
- ◎やってみる価値があるから親御さんとも相談したい

と、おっしゃるのですが、成功率や術後の完治の可能性についてあまり語らないので、「大金はかかるけど無事に生還できるかどうかは賭け…」くらいの意味にしか私にはとらえられませんでした。

手術を選ばない場合の余命を尋ねると、おそらく半年から1年ほどでした…。でも、

「それだけ猶予があれば悔いなく生きられそう!」

そう思った私は「手術はしない」「親に知らせない」という気持ちが固まってきて、「親には絶対に伝えないでください」と担当の先生に必死で頼み込んだのです。

何度も心が折れそうになり、そのつど「自力でがんばると決めたんだ」と、自分にいい聞かせて乗り切ってきました。

だから、昨年11月に父の家に運び込まれ、意識が戻ったときは「あーやっちゃった(バレてしまった)」と、いっきに気が抜けてぼうぜんとしていました。

- 長女Aさん もしこれが父ちゃんの身に起こったことだったらどうしてた？
- 平城氏 そうだな。僕は意気地なしだから、怖くていろいろな人にしゃべらずにはいられないだろうね。
- 長女Aさん 私も何度もいろいろなことをわからなくなるまで考えて、それで最後に「自力でがんばる」って決めたの。だから、わかってほしい。それから…、母ちゃんにはこのことを絶対に言わないって約束して。
- 平城氏 わかった。君の決意には口出しない。ただ、ひとつだけ父ちゃんの願いを聞いてほしい。『バランスα』を毎日がぶがぶ飲んでくれ。
- 長女Aさん 父ちゃんが売ってる「あの水」のこと？ おじさんやおばさんがいかがわしいっていったやつ。
- 平城氏 そうだよ。だけど、いかがわしくなんかないよ。末期ガンの人が生還した記録だったたくさんあるんだ。
- 長女Aさん そうなの、わかった。じゃあすぐに送ってね。

平城氏のお話

長女 A さんのお話

親を悲しませない、自分の運命だから自分で向き合う、その日が来るまでは自分の人生をまっとうしたい。24歳の娘が下した決断は死と向き合う気迫に満ちていました。父親であっても娘の人生の当事者にはなれないことを、そのとき改めて痛感しました。

長女が嫌だったのは、

- ◎親や医師の援助なしに生きられなくなること
- ◎手術が成功しても自力では生きられなくなること

「残り少ない人生」で長女が選んだのは「自分の人生を自分で決めてまっとうしたい」という自己の「主体性」だと思うのです。それこそが「生きる力」になっていたのではないのでしょうか。

それでも私は悩みました。娘の決断に委ねていいのか、私が担当医に会い最善の医療を尽くしてもらうべきでは…、そのゆらぐ心を鎮めさせたのは私にガンを告げた日の娘の気迫でした。娘の意向を無視して私が勝手に行動したら、娘の「主体性」を奪い、「余命を生きようとする気力」すら失われる結果を招いたのではないか、いまはそんな風に考えます。

また、娘の決断を尊重できたのには、もうひとつの心の支えとして「バランスα」の存在がありました。

「バランスα」を販売して10年、重篤な病いから命の崖っぷちに立たされた方々の生還報告を目の当たりにしてきたことです。ご愛飲者の方々の貴重な経験と言葉に支えられ、娘の「生きる力」に少なからぬ希望を託すことができました、そのように思えるのです。

父に自分の思いを受け入れてもらえて、とても気が楽になりました。父と兄の協力を得て、恋人のUさんと一緒に暮らす準備もスムーズに進みました。あの日の別れ際、父の目に浮かんだ涙を見て、この病気のこととは絶対自分で決めていこうと改めて強く思いました。

「バランスα」を飲みはじめてひと月半がすぎた頃（昨年12月末）、定期検査では担当の先生から腫瘍が若干縮小しているような気がする、と告げられました。「バランスα」って効くのかもかもしれないと思いはじめたのはその頃です。

その少し前から『蓮バランスα』の試作品を飲みはじめ、下痢が続き、アトピーがひどくなりました。

下痢は10日以内に収まりましたが、アトピーは首回りや手足の関節の裏側など湿疹がひどくなり、そこを寝ながらかきむしるのでパジャマが血で真っ赤になりました。けれど、アトピーがひどくなったのは同棲して卵料理を頻繁に作るようになったから卵の摂り過ぎかな、くらいに考えていました。

1月末に実家に戻ったとき、アトピーがあまりにひどい私の状態を見た母が「身体が弱っているとアレルギー反応が強く出るのよ」というので、「やっぱりガンが進行しているんだ」と絶望感に襲われました。そして泣きながら父に電話したのを覚えています。

ところが、父の反応は、「そうか、そうか、『バランスα』が効いているみたいだね。『バランスα』の働きでガンを攻撃する免疫系が急激に活発になっているからアレルギー反応も強く出るんだ。それは免疫系がガンと戦っている証拠のようなもんだよ。よかったじゃない」

と、拍子抜けするような話の内容で、同時に心底からほっとした気持ちにさせられたのでした。

これまでの経験から、末期のガンに「バランスα」が適合すれば、飲みはじめて1か月以内に何らかの身体的反応が強く出て、それが10日以内に収まる、というケースがほとんどでした。

長女の場合、下痢は10日ほどで収まりましたが、発疹は発症と鎮静を繰り返しながら、今も継続しています。彼女の発疹は「バランスα」の摂取により、免疫系がガン攻撃体勢に傾いたために免疫作用がバランスを崩して暴走し、もともと持っていた食物アレルギー症状による発疹を頻発させる原因になったように思われます。

長女から下痢や発疹の報告を受け、自分では『「バランスα」が効きはじめています』と感じていました。

しかし一方で、発熱がときどき起きていて、ガンと免疫系の闘いがどちらの優勢なのか、生きられる時間は延ばされているのか、そんなことに不安な思いを巡らせる落ち着かない毎日でした。

ですから、本年3月7日に担当医から早急に「病院に来るように」と呼び出されたとき長女から連絡を受けたときは、いよいよ厳しい宣告ではないかと想像し、娘に「どんな結果でも受け入れるよ」とお互い冷静に受け止めようという覚悟のメール文を送ったものです。

ところが、担当医に「ガンが劇的に縮小した」といわれたとき娘から聞いたとき、本当にうれしくて、「わ～！ やったぞ!!」と、ひと目も構わず大声で叫び出したいような気持ちでした。



担当の先生から「明朝イチバンで病院に来よう」連絡を受けたとき「もうだめだ」と思いました。その頃は頻繁に発熱し、検査中に医師たちがひそひそ話し合っているようで深刻な状態のようにしか感じられなかったのです。

診察室へ入ると、主治医の先生のほか、何人かの医師の方々に囲まれ、死闘宣言を受けるような物々しい雰囲気でした。

ところが、MRIの脳断面画像を見せながら「脳腫瘍は信じられないほど縮小しています。これなら当面命に別状はないでしょう」というのです。

私の頭の中は一瞬、空っぽになって嬉しいのか悲しいのかわからない状態になりました。

先生方は「これだけ縮小したのなら、少ないリスクで手術することもできますよ」とおっしゃっているようでしたが、私はどうしていいかわからず、しばらく黙り込んでから「家に帰って考えていいですか」、とだけ答えて病院を後にしました。

自宅に帰りつく頃、何だかようやく「まだ生きられるんだ!!」と喜びがこみ上げてむちゃくちゃ号泣しました。恋人の U さんや父に報告しなくちゃと思いつつも、感情のコントロールができなくて、あとからあとから涙とともに言葉にならない声があふれてくるのをこらえることができませんでした。

昨年12月、平城さんから話を聞いたときは正直ショックを受けた。東京神田で山形真室川の町おこしイベントにお手伝いに来てもらい、「芋煮汁」を一人で呼び込みをやって完売させ、元気はつらつな女の子だった。まさかその子が…と。

すぐさま会社(日本抗酸化飲料株式会社)に電話して、試作中(発酵中)の「蓮バランスα」をそのままボトリングして送るように指示を出した。

まだ完全発酵に達していなかったが、すでに4か月ほどかけてきてPH(ペーハー)も中性に近づき何とか飲めるだろうと思った。1月からは「梅バランスα」(発酵修了)に切り替えた。

2つの試作品のうち、どちらかが彼女の病気に当たってほしい、と祈るような気持だった。

3月に、平城さんから「娘の腫瘍が劇的に縮小し、もう摘出の必要性はなくなったようだ」と聞かされたときは工場のスタッフ一同本当にほっとした。

12月に送られてきた「蓮バランスα」(発酵途中)は匂いがきついし、飲むと口の中にざらざらしたもの(未発酵成分)が残り、それまで飲んで「バランスα」と違ってすごく飲みにくかったです。

おまけに(大きな声では言えないのですが)かつてないほどお腹をこわしてしまいました。1週間くらい下痢が止まらず、外出するときは必ずトイレの場所を確認していました。

けれど、そのうち慣れてしまって、1月に「梅バランスα」を送ってもらったときは、とても飲みやすくてなんだか物足りない感じがしたくらいです。

『バランスα』は父の指示通り毎日300ml以上飲みました。ボトルは肌身離さずという感じで、外出時も必ずバックに入れていきました。

大学病院の先生にも『バランスα』を飲んでいることを話しました。最初は関心がないようでしたが、12月末の定期検査で、わずかだけ腫瘍が小さくなっていると分かったとき「ちょっと成分を分析したいからサンプルをくれない?」といわれて1本あげました。

分析の結果ですか? そう言えばあれから何もいわれていませんね。

## 生物

## 高橋剛さんのお話

俺は医学のことはよくわからないが、農業畜産を天職として稲や牛を育ててきたから、命の力には確信を持っている。生き物は必ず「生きようとする力」を持っている。その力を100%引き出せば多少の病気や環境変化にはびくともしない。

「バランスα」が平城さんの娘さんに効いたとすれば、それは彼女の「生きようとする力」をうまく引き出したことだ。彼女がガンを克服しつつあるのは、「バランスα」そのものではなくて、彼女本人の中にある力だ。そのことをこれからも忘れないでいてほしい。

\*\*\*次号は、Aさんのご病気に関わった他の人々からお伺いしたお話のほか、「生きる力」について弊社の考え方も掲載する予定でおります。\*\*\*

## 最初に『バランスα』無料サンプルをお試しください!

## 無料サンプル

【お電話で申し込む】→0120-76-5812 無料フリーダイヤル

担当者が郵便番号・ご住所・お名前・お電話番号をお伺いします

完了です

【FAXで申し込む】→0120-76-5812 無料フリーダイヤル

同封のファックス専用申込用紙にお名前とお送り先の住所を書いてご送ください

完了です

【インターネットで申し込む】→株式会社 高橋剛商会 検索

高橋剛商会のホームページから「バランスα」無料サンプル申込み欄に必要事項をご記入し、ご送ください

完了です

【ご郵便で申し込む】→同封の封筒でポストに投函 切手不要

無料サンプル申込用紙にお名前とお送り先の住所を書いて同封の弊社宛封筒に入れ、そのままポストへ

完了です

『バランスα』がよくわかる小冊子も進呈しております。



●『バランスα読本・基礎編』A5サイズ・64ページ・フルカラー

無料サンプルは『バランスα』500mlの商品そのものをお送りします。

!! 無料ダイヤルは、050からはじまる電話番号からご利用できません。恐縮ですが、03-3576-5811へおかけ直してください。

「ご愛飲者様アンケート」「お客様の声」こそ『バランスα』の効果の証明です!!